

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

Table with 4 rows: 事業所番号 (0173501149), 法人名 (社会福祉法人 泰生会), 事業所名 (グループホーム こもれび ひまわり), 所在地 (伊達市松ヶ枝町154-20), 自己評価作成日 (平成30年1月10日), 評価結果市町村受理日 (平成30年3月12日)

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当事業所は小規模施設ならではの細やかな対応、いつもの仲間や馴染みのスタッフと一緒に支えあいながら生活して頂いている。食事は利用者様の希望や好みを取り入れ、毎食スタッフが手作りで提供し、スタッフと利用者様が一緒に食卓を囲んでいます。家事等利用者様個々の出来る部分に参加して頂き、基本理念である「家庭に近い生活環境の中で生活に満足できること」を保障し、利用者様やそのご家族の思いや希望に添うよう、その人らしい尊厳のある暮らしを保障します。又温暖な気候にも恵まれ四季折々の年間行事に力を入れ、ご家族、知人、友人も参加できる行事を行っています。医療連携は、訪問医師、訪問看護師、訪問歯科医師、又利用者様、ご家族の希望する医療機関への受診も行なっており信頼と安心を得ています。スタッフは各種研修参加の他、年間スケジュールに沿った施設内研修を行い各自の得意分野を発表しレベルアップを図っております。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

Table with 2 columns: 基本情報リンク先URL, http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou\_detail\_2017\_02\_2\_kihon=true&JigyosyoCd=0173501149-00&PrefCd=01&VersionCd=022

【評価機関概要(評価機関記入)】

Table with 3 rows: 評価機関名 (特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット), 所在地 (札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401), 訪問調査日 (平成30年2月13日)

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

Empty table box for external evaluation comments.

Table V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します. Columns: 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印), 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印). Rows 56-62 with detailed criteria and evaluation results.

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員採用時のオリエンテーション、職員会議、カンファレンス等により利用者が地域の一人として生活する施設であるという理念は、伝え共有し実践している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	季節的に玄関前に花壇やベンチを配置しており散歩中の地域の方と利用者が会話する機会があり、又地域の友人、知人等の訪問もある。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	自治会に入会しており運営推進会議にも役員の方の出席があり認知症の話をしている。又、市主催の行事、認知症カフェ等、積極的に参加し、地域社会との関わりを構築し理解を頂いている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の内容や家族からの意見、要望を法人に反映し、各職員には資質向上を促しケアに向けている。会議録は職員への回覧又ご家族に送付し必ず目を通す仕組みを構築		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	管理者は日頃から市役所担当者との連絡を密にとり施設内の運営や利用者様のサービスに繋げている。又入所に向けて相談を行っている		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員の研修は、年間スケジュールを作成している。外部研修へ参加させ、施設内研修で周知、徹底を図り、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者は虐待防止について職員へ研修の参加を勧め、年間スケジュールに沿った研修も実施している。又ケア内容にも耳を傾け精神的ケアも含め職員へ伝えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人制度を利用されているご家族の支援や機会があるごとに日常生活支援事業も含め、地域包括支援センターの職員とも連携をとって行きます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	管理者は契約時に於いて、契約書、重要事項説明書を提示し納得の行く説明を行い同意を頂いている。又、解約時はご家族の不安や疑問点を伺い今後の方向性も視野に入れ充分な説明を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議の議事録を職員に回覧、ご家族へ郵送している。又ご家族が来所のおりには利用者の近況を伝え気にかかることはないか等のお話は伺っている。利用者の様子がわかる通信を送っている。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の職員会議やミーティングで意見、提案があれば、施設長・管理者に報告し解答を得ている。職員からの相談は必ず回答するよう努めている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格取得者は給与に反映させる仕組みとなっている。スキル向上のため研修費用は法人負担とし、職員の親睦を深めるため会費を法人が一部負担している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員が順次法人内外の研修に参加し個人のスキル向上を目指しケアに反映する体制をとり研修にあわせ勤務の調整を行っている。又年間スケジュールに沿った研修を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム広域連合会に所属し年4回の研修会へ参加することもあり職員同士の交流を図っている。又、西胆振福祉施設職員交流会への参加も予定しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	不安や戸惑いに対し常に丁寧に傾聴し寄り添い不安を取り除くよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	新規入居者が落ち着いた生活を送れるようになるまで、家族等の要望やサービス内容の確認をしながら関係を密にし、信頼して利用して頂ける様、関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族等の要望、利用者の生活習慣や残存機能を考慮し、スタッフ間でのアセスメント、カンファレンス等により必要な支援を確認し、必要であれば他のサービス利用も含めた対応を行うよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者の自己決定を尊重し、出来る部分を共に支えていけるよう、家族との関係を築いている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者の自己決定を尊重し、出来る部分を家族と共に支える関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者の思いを必要時に家族に連絡し、家族と職員とで利用者が穏やかに生活できるよう努めている。又家族の面会その他、通院や散髪等の際には家族にも協力して頂けるようにしている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食事やおやつの時間、施設内外のレクリエーション等の際には入居者同士の関係が良好になるよう見守り声掛けし交流できるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後、お見舞いに伺うなど近況を把握し必要に応じて本人、家族のフォローをしている。不幸にも他界されたときは葬儀にも参列している。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	食べ物の嗜好、入浴の希望、散歩やドライブ等入居者の希望にそうよう努めている。又困難な場合、本人にとって穏やかに過ごせるよう配慮する。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	過去の生活習慣や環境を把握し、個々に合わせたケアを日頃から努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の有する力、能力に合わせた対応を心がけている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	サービス担当者会議等において本人、家族、職員、主治医、訪問看護等からの課題が意見が検討されその内容が介護計画に反映するように作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	職員間での支援に関する連絡は「連絡ノート」を活用し、ケア実践が円滑に行われるよう工夫している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	市や町内のイベント、認知症カフェ等に参加し地域との交流を図っている。又中学生の体験学習を受け入れており、今後小学校との交流も検討中である。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のボランティアにきて頂き演芸を楽しみ又傾聴ボランティアに週2回来て頂いている。又地域の行事へ参加し生活の楽しみを増やしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族、本人の希望を尊重している。医療機関に家族同行が出来ない場合、職員が同行している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護が来所の際は利用者の情報を伝え適切なケアを支援できるよう努めている。入居者に変化が認められたときは、電話で伝え適切な指示により対応している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先医療機関やご家族との情報交換、相談に応じ利用者が安心して治療できるよう努めている。又主治医、医療相談員との面談、病院内カンファレンスへの出席も行なっている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることができることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	本人の意向はもとより、家族、主治医、医療機関との話し合いを行い、職員とも不安にならないよう主治医を含め話し合いを行い、情報を共有しながら最善を尽くせるよう努めている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全職員が普通救命講座に参加及び更新できるよう努めており、又救急マニュアル、連絡体制を作成し、いつでも対応できるようにしている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	日中、夜間を想定した防火訓練を行っており消防署員の訓練後の評価を受けている。又自然災害対策に関する意識も高めている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご本人のプライド、又はプライバシーの保護に努め尊厳のある暮らしを支援できるよう努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	常に利用者の思いに寄り添い傾聴し、生活の中で自己決定できるよう言葉かけをしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の時間の流れはあるが、利用者のペースに合わせ希望に添った支援をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	必要な時に化粧品等を使用いただき又入浴後の整容、定期的に訪問理美容を利用し個々の支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の好みに応じた食事が叶うよう努め毎食職員と一緒に食事をしている。又利用者の残存機能や生活習慣を生かし職員と一緒に準備や後片付けをしている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の状態に合わせた食事量、好み、食事形態を把握し支援している。毎日の水分量は記録し一日を通して不足している方には声掛けし摂取できるよう支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時、食後、就寝時声掛けをし、本人の状態によっては口腔ケアの介助を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	基本的には自立されトイレでの排泄を行っているが、状態に合わせて声掛け、誘導、見守り、排泄後のケアを行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の排泄状況の確認。又状況に応じて食事や水分を工夫している。主治医のもと下剤利用などでも対応している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	本人の希望を優先し入浴して頂いている。毎日の入浴を希望されている方にもかなうよう努めている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の意向を優先し不安なことには傾聴対応し安心して眠れるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情報を共有し服薬確認を行い状態確認も行なっている。又「服薬管理一覧表」を利用し服薬の確認を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	カラオケ、ドライブ、歌等気分転換を図れるよう、又個別に手芸、はり絵、カルタ等を行い楽しむよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節行事やドライブ、買い物等に外出し気分転換を図れるよう努めている。季節行事等、家族と外出できるよう協力を求め支援している。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人の希望に添って買い物ができるよう、又家族の協力を得ながら支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	施設内の公衆電話の利用、希望があれば家族や友人などに自ら電話できるよう支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	温度、湿度、遮光等刺激のないように工夫している。又季節の飾り物、四季の生け花などで季節感を感じていただけるよう努めている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアに談話スペースを確保し利用者同士が穏やかに過ごせるような空間作りを工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染の家具や寝具、使い慣れた食器等を持ち込んで頂き、居心地よく過ごせるよう工夫している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	浴室の前に暖簾をかけたり、トイレのドア及び内部にわかりやすく表示をする等工夫している。		